



賢治詩碑の前で美しい歌声を響かせる桜町四丁目ママさんコーラスの皆さん

賢治への思い、いつまでも
宮沢賢治の命日に当たる9月21日、桜町の「雨ニモマケズ」詩碑前で「賢治祭」が開かれました。
献花・黙とうに続き、参加者全員で賢治作詞の「精神歌」を斉唱。花巻東高校1年の菅野真美さんの「雨ニモマケズ」の詩の朗読に続き、市内の小学生・高校生などが、歌や演劇を披露しました。
かがり火やあんどんの光で、賢治の世界を思わせる幻想的な雰囲気にもまれた同祭会場。来場者の皆さんは、秋の夜長を楽しみながら、賢治に思いをはせました。



受賞の喜びを話す、宮沢賢治賞を受賞した藤城清治さん

賢治研究・実践をたたえる
「第24回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞」の贈呈式が9月22日、なはんプラザで開かれました。
会場には約200人が来場。宮沢賢治賞を受賞した影絵作家の藤城清治さんや、イーハトーブ賞を受賞した三陸鉄道株式会社など、3個人1団体の賢治に関する研究や実践がたたえられました。
式典終了後には受賞者による講演などが行われ、藤城清治さんは賢治作品との出会いなどを話し、会場からは大きな拍手が送られました。



力を合わせて、スコップで苗木に土をかぶせる子どもたち

豊かな森を願って市民植樹祭
「豊沢川の森・市民植樹祭」が9月20日、豊沢ダム上流にある「水土里ネット豊沢川の森」で行われました。
同植樹祭は、森林と水資源について理解を深めながら、豊かな自然環境を守り育てる意識を高めてもらおうと豊沢川土地改良区が主催。青空の下、小学生や市民など約260人が参加し、豊かな森の成長を願いながら、ブナやミズナラなどの広葉樹の苗木37本を植えました。
植樹後は木工体験などもあり、会場には子どもたちの笑顔があふれました。



交通安全タスキリレー出発の前に、敬礼で決意を表す宮野目小の児童たち

交通安全 元気に呼び掛け
秋の全国交通安全運動に合わせた交通安全タスキリレーが9月22日、市内で行われました。
市役所で開かれた出発式には、関係者など約20人が出席。「小学生銀河大使」と「日花巻警察署長」に委嘱された宮野目小学校6年の児童4人は、「交通安全を呼び掛けてまいります」と元気に決意を述べました。
式終了後、児童は二手に分かれてパトカーに乗り込み事業所など12カ所を訪問。交通安全メッセージを伝えながら、タスキに誓いの署名を集めました。



親子でスイートポテト作りに挑戦。10歳の楽しい思い出となりました

2分の1成人式親子でお祝い
「親子で1/2(2分の1)成人式」が9月28日、花巻市交流会館で開催されました。
成人の半分の年齢に当たる10歳を祝う催しとして、昨年度の成人式記念行事実行委員会OB・OGでつくるアイオンはなまきが中心となり初めて企画したものです。
小学4年生と保護者10組が参加し、スイートポテト作りに挑戦。その後、親子がそれぞれ10年後の自分に向けて将来の夢などを手紙に書いたほか、保護者の皆さんは10年後の子どもに宛て思いをつづりました。手紙は10年後、参加者の皆さんに届きます。



▲全ての出演者がステージに登場し、合唱しました
▲一生懸命楽譜を追いかける金星少年少女オーケストラの子どもたち

最後に、全ての出演者がステージに登場し、「茶色の小瓶」「ドレミの歌」の2曲を観客と合唱。世代を超えて音楽の素晴らしさを共有しました。

世代を超えて、音楽交流
花巻ジュニアミュージックフェスタは10月4日、文化会館で開催されました。
同フェスタでは、市内のジュニア音楽団体3団体とプロミュージシャン3組による多彩なステージを展開。花巻ジュニア・スウィング・オーケストラは、稲生創トリオと「A列車で行こう」の楽曲で共演し、会場を沸かせました。